

## 少数民族

## ミャンマー地図

### ネピドー (ミャンマーの首都)

ミャンマーの首都であるネピドーはヤンゴンの北部 320 キロの所にあります。旧首都ヤンゴンに代わり建設され、2005 年に移動しました。ネピドーは王都という意味でした。人口は百万人います。ミャンマー連邦議会(Hluttaw)ビル、政府庁舎、ウツパタサンティパゴダ、動物園、植物園などがあります。

[www.tripstomyanmar.com](http://www.tripstomyanmar.com)

[www.myanmarhandmade.com](http://www.myanmarhandmade.com)

## ライフアンブレラ旅行会社

ミャンマーにご滞在中完全な満足を持って幸せな旅行になりますように努力しております。

## 主な見所

### ヤンゴン (緑都)

ヤンゴン (緑都)、ミャンマー連邦の首都で、ヤンゴン管区の州都。今はミャンマーの中心商業都市と下ミャンマーの首都。ミャンマーの玄関口として、また重要な港町です。面積は 350 平方キロメートルあり、人口は 6 百万人以上います。4 人のお釈迦様の仏舎利が安置されているシュエダゴンパゴダはどこからも見えるヤンゴンのランドマーク。シュエダゴンパゴダへ観光しないとミャンマーの旅行は意味はないです。他の主な見所は国立博物館、ポージョーアウンサンマーケット、スレーパゴダ、チャウッタジー寝釈迦像とコロニアル建物等が見学できます。

### チャイティーヨー (奇跡のゴールデンロック)

チャイティーヨーパゴダあるいはゴールデンロックは海拔 1090 メートルであり、ミャンマーの東部のモン州にあります。まるで落ちそうで落ちない不思議なパゴダです。モン族の言葉で「隠者の頭上のパゴダ」という意味で、お釈迦様の整髪が安置されています。ヤンゴンから 160 キロ離れる所に位置して今にも屈指の巡礼地となっています。

### マンダレー (宝石の都)

上ミャンマーの商業都市であるマンダレーはミャンマーの文化的な遺産が残っている中心地。ミャンマー第 2 の大都市であり、最後の王都として栄えたマンダレーはミャンマーのほぼ中心に位置する古都。1875 年に王国の首都の名は Yadanabon (宝石の都) と呼ばれた。その後、都の名がマンダレーヒルにちなんでマンダレーとなりました。パーリ語で Mandalar (平原) という意味もあるし、幸運の地というものもある。マンダレーは多数の僧院と 700 以上のパゴダがあり、ミャンマーにおける仏教文化と信仰の中心地。

## インレー ( シャン高原の青い海 )

シャン高原にあるインレー湖は標高 1200 メートルあり、南北 22 キロ、東西 11 キロ長い湖です。水は青く澄んでいて、山々に囲まれた美しい風景が眺められる。周りの 17 の村に原住民が暮らしております。片足で櫂を操るインダ一族の珍しい漕法が見える。西部にあるインディン遺跡地数百もの古い仏塔が見られ、多くは崩れかけている。村周辺では 5 日に 1 回水上マーケットが開かれる。

## バガン ( 仏教建築群 )

42 平方キロメートルのバガンはエーヤワディー川の石岸にあり、古い建物や宗教的な建物が林立してバガンとは広く遺跡群の存在する地域を指しています。仏塔の数は 3000 以上を超え、世界三大仏教遺跡の一つと称されております。バガンは世界で古学的な一つの場所で、屈指の仏教の聖地。ミャンマーの土着宗教であるナツ信仰の聖地として有名なポツパはバガンの南東 50 キロにあり、死火山です。

## ミャウー ( 第二遺跡地 )

ヤカイン州の町であるミャウーはミャンマーの西部に位置する。何百の寺院とパゴダがあり、ミャンマーで二番目の有名な遺跡地です。ヤカイン王様はレミヨー川とカラダン川の下流域に町を設立され、1433 年にミンソーモン王によってミャウーを設立されました。ミョハウとも知られ、レミヨー川とカラダン川の間に位置し、古都という意味です。ミャンマーの独特の建築様式のパゴダが点在し、砂岩でできた仏塔や寺院が見事です。